



ガンバッテいます



山下 君代さん

J/Aかもとファーマーズマー
ケット「夢大地館」出荷者



鹿央町の山下さんは「夢大地館」出荷者協議会副会長を務めて4年目になります。もともと実家が農家で、それを手伝い始めたことが農業に係るきっかけになりました。今ではご主人と娘さんとで作業しています。忙しい時期はシルバースターの方を雇用しています。また植え付け、水やり、消毒等の管理はご主人、直売所と家庭用の野菜は山下さんと分担しています。

● スイカとメロン作っています

山下さん宅では、120aの畑でスイカとメロンを主に作っています。春から夏にかけてスイカを100aとメロンを20a、秋にはアールスメロンを40a作っています。全てビニールハウス栽培で、連棟が3枚、単棟が2枚です。連棟は天井が高く、開閉できるので単棟に比べて少しは涼しいとのこと。それでも2回ほど熱中症になりました。病院行きになったほどハウス内の作業は大変です。スイカは6月までJ/Aへ出荷し、7月からは直売所へ出荷。品種は「春

のだんら」と「祭りばやし」「黒小玉」の3種類を、時期をずらしながら栽培しています。

● 取扱い注意！

ご主人のこだわりのため、スイカは当日の早朝採りたてで出荷します。直売所の開店が7時のため、5時半から出荷作業に入ります。スイカは割れやすいので注意して作業します。「梅雨の時期は特に注意します。スイカの皮が張っているので、机の縁に触れただけで割れたこともありました」とのこと。

● 直売所について

以前は水辺プラザに出荷。そこで出荷者としてのノウハウや心構えを学びました。その後近くに「夢大地館」が開店したため、こちらに出荷するようになりました。「直売所では、自分で商品に値段をつけることができるので、もっと良い品を作ろうと努力できます」という山下さん。「自信のない商品は絶対に出荷しません。お客様は名前を見て買ってくれるので、「煮え果」などない様、蔓が弱ったものを出不さない、直売所で決められた期間以上置いておかない、と心がけています」とのことでした。

● これからの抱負

直売所以外にも、J/Aの女性部活動や市活性化グループの会長も務めている山下さん。黒板に予定表を書いておかないと忘れてしまうほど忙しいそうです。それでも、「家庭用に手作り味噌で摘果メロンやスイカの漬物を作っています。いずれ直売所にもそんな加工品を出してみたいと思っています」と話してくれました。